

第42回 日本ペストロジー学会 長崎大会

大会日程

大会前日 10月27日(火)

第35回 若手談話会 14時00分より

大会1日目 10月28日(水)

一般口演/シンポジウム講演/協賛企業展示会/懇親会
(12:50~16:50)

12:50~13:00 開会挨拶
13:00~14:24 一般口演 1 ~ 7
14:24~14:45 休憩
14:45~14:50 シンポジウム講師紹介

14:50~15:20 シンポジウム講演①

海外における媒介蚊の殺虫剤抵抗性の現状と国内における対策

講師:JIHS 国立感染症研究所 葛西 真治

15:20~15:50 シンポジウム講演②

蚊の発生源としての雨水桧

講師:長崎大学熱帯医学研究所 砂原 俊彦

15:50~16:20 シンポジウム講演③

ドローンとAIを活用した幼虫発生源管理(LSM)の実装と評価

— マラウイおよびモザンビークにおける実証 —

講師:SORA Technology 株式会社 山口 真広

16:20~16:50 総合討論

18:00~20:00 懇親会 ホテルニュー長崎 3階 鳳凰閣

大会2日目 10月29日(木)

一般口演/学会総会・表彰式典/協賛企業展示会
(9:00~13:00)

9:20~10:20 一般口演 8 ~ 12
10:20~10:30 休憩
10:30~11:30 一般口演 13 ~ 17
11:30~12:20 昼休憩
12:20~13:00 ペストロジー学会総会・表彰式典
13:00~14:24 一般口演 18 ~ 24
14:24~ 閉会挨拶

第42回 日本ペストロジー学会長崎大会 プログラム

大会1日目 10月28日(水)

12:50～ 開会挨拶 長崎大会大会長 川田 均

■一般口演プログラム 1～7題 *優秀発表賞審査対象 座長 川田 均

13:00～

1.東京都における蚊類の捕集状況(平成27年～令和7年)

山口綾太 東京都健康安全研究センター

13:12～

2.気象データ、土地利用状況に基づく飛翔昆虫捕獲数の予測について

菊池 寛 (株)サニックス

13:24～

3.食品工場における徘徊性貯穀害虫の初期スクリーニングに対する
マルチフェロモントラップ(トリオスマルチ)の有用性評価

矢頭勇樹 赤門ウイレックス(株)

13:36～

4.ヒラタチャタテに対する食品添加成分からなるエタノール製剤の開発

坂本育実 (株)フジ環境サービス

13:48～

5.ヤンバルトサカヤスデに対するピレスロイド化合物の作用機序解析

坂本 光 (株)サニックス

14:00～

6.ゴキブリの行動特性から見た製剤設置場所の妥当性の検証

松本竜実 アース製薬(株)

14:12～

7.ハイイロゴキブリの殺虫剤感受性について

塩手文也 (一財)日本環境衛生センター

14:24～14:45

休 憩

14:45～14:50

シンポジウム講師紹介

■ シンポジウム

『感染症媒介蚊防除の最前線』 - 海外からの侵入や抵抗性に如何に対処すべきか -

14:50～

◆海外における媒介蚊の殺虫剤抵抗性の現状と国内における対策

講師:JIHS 国立感染症研究所 葛西真治

15:20～

◆蚊の発生源としての雨水桧

講師:長崎大学熱帯医学研究所 砂原俊彦

15:50～

◆ドローンと AI を活用した幼虫発生源管理(LSM)の実装と評価

ー マラウイおよびモザンビークにおける実証 ー

講師:SORA Technology 株式会社 山口真広

16:20～16:50

総 合 討 論

■ 懇 親 会

18:00～20:00

ホテルニュー長崎 3階 鳳凰閣

大会 2 日目 10月 29 日(木)

■一般口演プログラム 8～17 題

9:20～

8.ドローンを活用したミンク痕跡調査

野本祥一 (公社)東京都ペストコントロール協会

9:32～

9.トレイルカメラを使った都市のビル外構に生息する鼠族の研究

小松謙之 (株)シー・アイ・シー

9:44～

10.物体検出モデルによるヒョウヒダニ徘徊数の自動計数システムの構築

橋本知幸 (一財)日本環境衛生センター

9:56～

11.都内公園で捕集されたアカイエカ群の遺伝子同定結果及び環境因子との多変量解析結果

原田幸子 東京都健康安全研究センター

10:08～

12.新潟県柏崎市におけるブユ成虫の駆除・防除に関する研究 ー旧ゴルフ場跡地における BT 剤散布による結果ー

平林公男 信州大学学術研究院理工学域

10:20～10:30

休 憩

10:30～

13.横浜グリーンエキスポ会場周辺 横浜市瀬谷区の蚊相 ー国際園芸博覧会に向けてー

伊藤真弓 横浜市衛生研究所

10:42～

14.倉庫でのライトトラップによるモニタリングにおけるハエ目の科ごとの捕獲状況の違い ー特にショウジョウバエ科についてー

遠藤拓也 (株)日本保健衛生協会

10:54～

15.吸引型捕虫器のファンの位置が捕獲効率および捕獲個体に及ぼす影響

木村悟朗 イカリ消毒(株)

11:06～

16.感染蚊発生に備えた蚊成虫防除訓練の取り組みと防除効果

佐々木 健 (公社)東京都ペストコントロール協会

11:18～

17.未交尾と交尾したヒトスジシマカ雌の吸血後の遺伝子発現量の比較

向井梨恵 福岡大学

11:30～12:20

昼 休 憩

12:20~12:50

学 会 総 会

12:50~13:00

表 彰 式 典（学術奨励賞・優秀発表賞）

■一般口演プログラム

18~24 題

13:00~

18.ヒトスジシマカの潜伏場所と緑視率や微環境要素等との関係について

室井利夫 清水建設(株)

13:12~

19.食品工場におけるチョウバエ類検出のためのリアルタイム PCR 法の開発

洲崎 雄 (株)大林組

13:24~

20.吸血後トコジラミの体重変化 ②

数間 亨 (一財)日本環境衛生センター

13:36~

21.次亜塩素酸ナトリウム水溶液がヒラタチャタテに及ぼす影響

田中康次郎 (株)フジ環境サービス

13:48~

22.飲食店における厨房嵩上げ工法の構造的な問題が引き起こすノミバエの大発生と防除事例

前田浩志 環境機器(株)

14:00~

23.自らの意思で屋外へ出ていく一方向排出構造によるコウモリ対策品の有効性の検証

矢田祥尉 (株)バーテック

14:12~

24.第二世代抗凝血性殺鼠剤ネオラッテ DF ブロックプロのクマネズミに対する効果

田中和之 イカリ消毒(株)

14:24~

閉会挨拶

実行委員長

濱崎昌宏